

「北秋田市こども計画（素案）」に係る意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 意見募集の期間

令和7年2月10日（月）～令和7年2月25日（火）

2. 意見を提出いただいた方

2名

3. 提出された意見等の概要及び当該意見等に対する市の考え方

意見等の概要	市の考え方
中学校の制服購入費用は親にとって大きな負担となっており、特に2人目、3人目の子育てへの自信を失わせる要因となっていると考えます。北秋田市では学生服のリユース事業を実施していますが、市内中学校の制服デザインを統一した上で、入学時やサイズ変更時に貸与し、卒業後に返却して次の世代に渡す事業を提案します。この取り組みは、少子化対策の一助となると考えられます。また、初年度には一定の費用がかかるものの、その後は補充とリユースにより事業費を低減することも可能です。	市では、使わなくなった制服等を回収し、譲渡会で必要な方に無料で譲る「子育て支援学用品リユース事業」を実施しています。ご指摘いただいた制服購入費用の負担軽減に即応するため、本事業の更なる充実を図り、一人でも多くの「譲って欲しい方」と「譲りたい方」に喜んでもらえる事業となるよう努めてまいります。また、保護者の負担軽減とSDGsの推進を目的とし市内中学校の制服の統一と貸与を行ったかどうかというご提案は、今後の参考とさせていただきます。
雨の日にこどもが室内で遊べる場所が不足しています。コムコムのねまーる広場は、ハイハイ期には大変助かりましたが、こどもが成長し、必要性を感じています。乳幼児向けと小学生向けの遊び場を分けることで、安全に遊べる環境が提供できると思います。また、空港や道の駅といった人々が集まる場所に広い遊び場を作ることで、市内のお店の利用が増え、いずれは移住者の増加も期待できると考えます。 北秋田市は、交通アクセスの良さに加え、夏には北欧の杜公園での噴水遊びやキャンプ、バーベキュー、冬にはスキーや雪遊びが楽しめる非常に良い場所ですが、これらの環境が十分に活用されていないと感じています。過去に開催されたイベントや阿仁スキー場が外国人観光客で賑わっていることを考えると、有名なアーティストを招いた音楽フェスなどの開催により、賑わいづくりや誘客が可能ではないでしょうか。子どもを出産した10年前から思っています。	小学生が遊べる屋内施設については、今回実施したアンケートや会議にご出席いただいた子育て当事者の皆様からも同様のご意見をいただいておりますが、今回ご意見をいただき、改めてニーズが高いことを確認しました。乳幼児と小学生の遊び場を分けることで安全に遊べる環境が提供できるというご提案は、今後の参考とさせていただきます。 さらに、イベント開催による賑わいづくり等についても貴重なご意見をいただきました。コロナ禍が明け様々なイベントが再開する中、音楽フェスなどの開催が地域活性化に貢献するとのご指摘を受け、子ども・若者の皆様が「住みたい市」、「住み続けることに特別な価値がある市」と感じられる取り組みについて検討していきたいと考えます。 今後も、子ども・若者、子育て当事者の皆様のニーズ把握に努め、共に地域づくりを進めてまいります。